

ProActive User Report

for SaaS

プリモ・ジャパン株式会社 様

人事給与システムの運用管理のTCO低減と マイナンバー制度への対応を実現したのは、 ProActive for SaaSだった。

「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」を経営理念として掲げ、ブライダルジュエリーの企画・販売を行われているプリモ・ジャパン様。ビジネスの拡大により、従業員の増加等にも対応し、効率的に業務を進められる新しい人事給与システムとして、メンテナンスが不要となり、TCO低減が期待できる「ProActive for SaaS」が採用されました。



I-PRIMO

User's Profile

 **PRIMO JAPAN**
プリモ・ジャパン株式会社

設立:1999年4月
売上高:181億1,900万円(2015年12月期)
従業員数:623名(2015年4月現在)
(男性:95名 女性:528名)
店舗数:国内 78店舗 海外 14店舗
(2015年10月16日現在)

事業内容
●ブライダルジュエリーの企画・販売



管理本部 総務部
労務グループ
マネージャー
中村 貴子 氏



管理本部 総務部
労務グループ
及川 美佳 氏

導入の背景

業容拡大による従業員増加に対応し、
効率的な業務遂行が可能な新システムを検討。

プリモ・ジャパン様では、将来の法改正対応や業容拡大による従業員増加など、現状の課題を解決するために、システムリプレースの検討を開始。新システムの構築により、旧システムにおける課題の解決や利用者からの要望の実現を目指しました。

課題

- 1 マイナンバー制度をはじめ、将来行われる法改正へのシステム対応面での不安
- 2 給与支給額を事前に表計算ソフトで計算しておくなど、システム外で行う作業が多く、社員数が増加した場合の給与業務の負荷増大に対応できない
- 3 法改正やシステム稼働環境の変化への対応など、システムを運用していく上での負荷が軽減できる人事給与システムの実現

選定のポイント

機能や操作性からサポート内容までを総合的に評価し、
「ProActive for SaaS」の導入を決定。

新システム選定のポイント

- 将来的な従業員の増加にも対応でき、実績豊富な信頼性の高いシステムだったこと
- 使いやすい入力画面と業務別ナビゲーションメニューなど、利用者の利便性を追求したシステムだったこと
- クラウドサービス(SaaS)のため、所得税(年末調整)やマイナンバー制度などの法改正へのシステム対応が不要となり、TCO*を低減できること



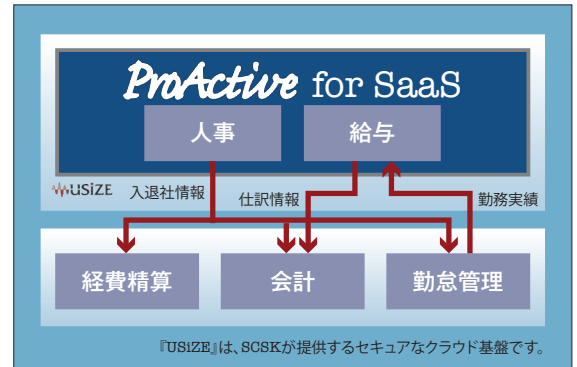
▲業務別ナビゲーションメニュー画面

*TCO:Total Cost of Ownership(総所有コストのこと)

導入のプロセス

導入期間は5ヶ月間。メンバーは少人数でも、当初のスケジュール通りの本番稼働を実現。

新システムの導入は、2014年6月から10月末までの5ヶ月間という短期間で実施した。導入作業は、メンバーを厳選して少人数で行なったが、スケジュールを遅延すること無く、順調に進めることができた。導入作業で最も負荷が高かったのは、データ移行だったと総務部 労務グループの及川氏はいう。「従業員の異動や資格などの履歴情報と10月までの給与実績データの移行は大変でした。まず、旧システムとProActiveでデータの持ち方が異なり、データ変換が発生しました。次に、給与支給項目の見直しにより、旧支給項目のマッピングと合算作業が必要でした」(及川氏)。最も負荷が高かった移行データの作成と確認作業を少数精鋭で乗り切り、予定通り、本番稼働を迎えた。



▲新システム概要図

導入後の評価

1か月で約10時間の業務効率化とシステムのTCO低減を実現。

SaaS利用による様々な効果を実感。

本番稼働が始まり約1年半、クラウドERPの人事給与システムを導入し、どのような導入効果が得られているのか?まず業務面では、「ProActiveで人事や給与関連のすべてのデータを一元管理できるようになりました。そのため、以前は複数システムのデータを組み合わせてからレポートを作成していましたが、ProActiveでは一元管理されたデータを使って、様々なレイアウトをパターン化して出力できるので、レポート作成業務の負荷が軽減し、また品質そのものも向上しました」と及川氏はいう。さらに、システムの統合効果により、給与計算業務の精度が向上。加えて、システムの習熟度の高まりも相まって、業務効率も大幅に向上したことから、マイナンバー制度に伴う個人番号収集などが担当業務として増えていながらも、残業することなく通常の業務時間内ですべての業務を行っており、まさに「働き方改革」を実践している。

また、運用管理面では、システムを自社で保有するオンプレミス型の導入ではなく、クラウドサービス(SaaS*)を選択したことによる効果も大きい。オンプレミス型の場合、法改正対応やサーバOSやミドルウェアへの更新プログラムの適用、データバックアップなど、すべて自社で対応しなくてはならない。しかしSaaSの場合、それらのシステムメンテナンスは、サービス提供者であるSCSKが対応

するため、運用管理の負荷が無くなった。システム稼働後に発生したマイナンバー制度を始めとする各種法改正への対応も自動的に実行されており、これまで自社が費やしていた運用管理のコストが削減され、TCO低減を実現しているという。

総務部 労務グループ マネージャーの中村氏は、「経費精算や販売管理などの社内システムのID管理に役立っています。ProActive人事の入退社情報を正とすることで、社内システムのID登録漏れなどが無くなりました」という。また及川氏も、「給与支給の仕訳伝票を会計システムのフォーマットに合わせて出力できるため、経理担当者がデータの並び替えなどをせずに取り込めるようになりました。また、資格取得歴や研修受講歴もProActiveで一元管理されているので、研修担当者からの問合せにもスムーズに回答できるようになりました」と、様々な効果について教えてくれた。ProActive for SaaSの採用により、人事給与システムのTCO低減に加え、給与業務の効率化、人事情報データベースの構築による効果を享受されているプリモ・ジャパン様。ProActive for SaaSが、その時々トレンドをタイムリーに反映し、さらにユーザーフレンドリーなクラウドERPとなることに大きな期待を寄せている。

*SaaS:Software as a Service の略。ソフトウェアをインターネットなどを通じて提供し、利用者が必要なものを必要なときに呼び出して使うソフトウェアの利用形態のこと。



導入効果のまとめ

- ✓ システムメンテナンスが不要となり、人事給与システムにかかるTCO低減を実現
- ✓ ProActiveでのデータの一元管理の実現により、各部署からの照会への対応やレポート作成の効率が大幅に向上
- ✓ 1か月あたり約10時間の業務効率の向上を実現
- ✓ ProActiveのデータ出力レイアウト機能により、システム連携用のCSVファイル作成や毎月の入退社情報の作成を自動化

●お問合せ先

SCSK SCSK株式会社

SCSK カスタマーセンター

☎ 0800-500-4000 (無料) 受付時間 / 月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、当社指定日を除く)

●携帯電話でのお問い合わせTEL:03-6670-2990

ProActiveWebサイト: <https://proactive.jp/> E-mail: proactive@ml.scsk.jp

*掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。 2016.3 初版